

## 国交省・JR 連合

## 意見交換会を行う！



要望書手交  
鉄道局総務課土田企画室長(左)  
JR連合産業政策上村委員長(右)



辻村書記長

4月20日(木)、中央合同庁舎第2号館会議室において開催し、貨物鉄産労からは辻村書記長が出席しました。辻村書記長からは、「世界情勢やコロナにより、JR貨物の現状はかない疲弊している。物流クライシスと叫ばれている2024問題まで残り1年を切った。2024問題はJR貨物にとって大きなチャンスであり、営業部も積載率の向上・輸送力強化を図りながら、お客様獲得に向け営業活動強化を図っているが、JR貨物だけでは解決出来ない問題が多々ある。ご存知の通り、JR貨物は各旅客会社の線路を借りて運行しており、これまでも各旅客会社と協議を幾度となく重ねながら調整を行っているが、各旅客会社にもダイヤ設定・保守点検等があり、クリアするためには多くの課題が存在する。人流はもちろん大切であるが物流も大切であり、物流が滞れば大きな問題に発展することは容易に想像でき、以上の点を含め、国からの協力を仰いでいながら、この課題解決に向け取り組んでいきたい」と述べられました。